

アンケート結果を受けて改善したいところ 【創造科学系】

授業の最初に本授業のシラバスに目を通したかを質問したところ皆無であった。そこでこの授業の目標を説明したにもかかわらず理解していない受講者が存在したことには若干残念に思う次第である。一方、担当が複数であり、内容が木材加工技術と電気技術とに分かれており、この点において、受講者に感いがあつたことが予想される。
そこで、可能な限り取扱う技術を共通な内容に揃えたい。

授業の最初に本授業のシラバスに目を通したかを質問したところ皆無であった。シラバスに記したこの授業の目標を説明したにもかかわらず理解していない受講者が存在したことには若干残念に思う次第である。担当が複数であり、内容が木材等の加工技術、電気・情報技術、栽培技術に分かれていたが、この点に対して、受講者のとまどいが生じないように、ガイダンスの充実等工夫したい。

やや授業が難しいという回答も多かったので、難易度を落とすということではなく、より理解をしやすい工夫をしていきたい。

予習できるように事前に画論のプリントを配布しているにもかかわらず予習してくる学生は3割強にとどまっている。予習してくれば講義内容への理解や意欲が高まると考えられ、この割合を高めたいが、現時点で具体策を思いつかない。

アンケートの中の問2と問15の結果をみると、受講生が、本授業を受けて自ら学習したり、本授業のために学習したりといったことが少ないということが分かったことから、今後は、この点を改善する工夫をしていきたいと思いました。

1限2限で同じ内容を扱うようにしたのですが、同じように受け止められるわけではないので、活動量や内容について気をつけたいと思います。また、分かり易さ聞き取りやすさについても、改善するように気をつけたいと思います。

話し方の改善と説明の順序と話題の選び方を更に工夫すること

スポーツを指導するうえで、学生に「伝える」、「理解させる」ことは非常に重要である。問8)教員の話し方は聞き取りやすい、問9)教員の説明はわかりやすいの設問に対し90%以上の学生がそう感じた一方、問1)授業で新しい考え方や知識・技能が身についたと感じた履修者は80%程度であった。スポーツを楽しむことに加え、「できなかったことができるようになった」と実感できる授業を展開できるよう努力を続けたい。

授業外学習を学生がより行えるように工夫したい。

すべての回答において、ポジティブな回答数が半数を超えていたが、Spスポーツの平均値と比較するとすべての設問において、ポジティブな回答率が劣る結果となった。それを受けて、「良い授業」とは何かを改めて考え、身体を動かすことが第一とする中でも、教材、教具、資料配布などによって、細やかな補足説明、問題提起を行い、自分の考えに基づき行動できるよう改善する。

「市民リテラシー」の枠で授業を行うようになってから、今年度が最も学生の反応が良かった。意見交換を多く取り入れ、学生の言葉を「待ち、聴く」よう心がけたこと、ゲスト講義を取り入れたことの効果があったと考えられる。とはいえ、「学生同士で授業内容を深めあった」「学習目標が達成できた」に「あまりそう思わない」と回答した学生が各1名、「授業が難しい」と回答した学生が1名おり、サイレント・マイノリティの意見を意識することは必要だと思う。自習時間が「1時間未満」「なし」あわせて67%と、総じて少ないことは課題である。自習課題を持ち寄ってのディスカッション形式を、もっと取り入れてもよいかもしれない。